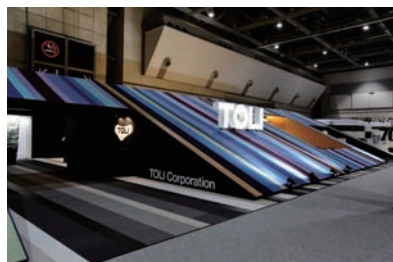


## JAPANTEX2011

『ニフ』という組織をご存知でしょうか？社団法人日本インテリアファブリックス協会、略して『NIF』わかりやすくいうと、カーテン、カーペット、壁紙、ブラインドなどインテリアファブリックを取り扱っているメーカー・商社の集まりです。このNIFが主催する展示会が、『ジャパンテックス』(JAPANTEX)で、NIFの会員企業(15社)を中心とした国内外のインテリア関連企業 約150社が集まる国際総合見本市になっています。ジャパンテックスはインテリア業界最大級というだけでなく、今年で30回目の開催という歴史ある展示会でもあります。

今年も例年通り、東京ビッグサイト西ホールにて11月9日(水)～11日(金)の会期で“盛大”に開催…と言いたいところですが、今年度の3日間の総来場者数は前年比17.5%減となる1万4705名、NIFの会員企業の中にも出展を見合わせた企業もありました。そういったことで「出展規模、来場者数ともに縮小傾向が続いている」という業界紙の記事になってしまうのですが、内容的には、トークセッションやセミナー、展示企画などが例年以上に非常に充実していて、インターネット中継などの新しい取り組みも実施されました。東リブースの住宅用タイルカーペット『ファブリックフロア』の展示コーナーでは、多くのお客様に靴を脱いで頂き、フローリングとはまったく違う『ファブリックフロア』のやわらかい歩行感を感じて頂けるなど、出展者と来場者の距離が近く感じられるジャパンテックスでもありました。



▲東リブース外観



▲東リブース内『ファブリックフロア』

インテリア業界ではジャパンテックスだけでなく、大小様々な展示会やイベントがありますが、今号ではその中からカーテンに関連する2つのイベントをご紹介します。

## interiorlifestyle

「インテリアライフスタイル」(interior lifestyle)は、家具メーカーの集まりである(社)日本家具産業振興会とドイツ・フランクフルトで開催される世界最大級のインテリアファブリックスの展示会「ハイムテキスタイル」(heimtexile)を主催するメッセ・フランクフルト(messe frankfrt)の日本法人であるメサゴ・メッセフランクフルト(株)が主催する展示会です。

インテリアライフスタイルはライフスタイル提案型のインテリア総合見本市として、春と秋の年2回開催されます。春の方が規模がやや大きく、ジャパンテックスと同様に東京ビッグサイトの西ホールで開催されます。秋は名称を「インテリアライフスタイルリビング」(interior lifestyle living)として、春よりも少しファニチャー寄りの内容になっています。規模は春の半分程度というイメージでしょうか。

ジャパンテックスには、インテリアファブリックスだけでなく「機能性ビニル床シート」などの“建材”的な部分がありますが、インテリアライフスタイルは家具、テキスタイル、テーブルウェア、キッチン用品、カフェ・レストラン関連用品など様々なインテリアアイテムが集結する“インテリア雑誌”のような展示会です。ジャパンテックスがハイムテキスタイルの日本版なら、インテリアライフスタイルはパリで開催されるメゾン・エ・オブジェ(MAISON&OBJET)の日本版と例えられることもあります。(どちらも規模は比較になりませんが)

今年で第4回目となるインテリアライフスタイルリビングは、11月2日(水)～4日(金)、東京ビッグサイト東2・3ホールにて開催され、空間を彩る様々なインテリアアイテムが展示されました。主催が(社)日本家具産業振興会ですので、出展の中心はやはり家具ですが、テキスタイルの分野でもジャパンテックスではみられない出展やイベントがあって、一見の価値ありという内容になっています。

## Heimtextil Trends 2012/2013 Preview

2012年1月に開催されるハイムテキスタイルで発信される2012/2013シーズンのインテリアテキスタイルのトレンドを、ハイムテキスタイルのトレンドセッターでもある南村弾氏と建築家2名とのトークセッション形式で世界に先駆けて公開されました。

“Montage (モンタージュ)”。

『環境様式、技術、機能、文化、エコロジー、フォルム、カラー、パターン、テクスチャー、様々な今日的な要素を無秩序ではなく、既成概念にとらわれず、断片を切り取ってデザインして組み合わせることで新しいコンセプトが生まれる』

### ➤ COLOUR RIOT

洗練された光(色の乱舞)

### ➤ DARK LUX

神秘的なエレガンス(暗黒の明るさ)

### ➤ CRAFT INDUSTRY

プロトタイプ進化(生産の技巧)

### ➤ SPLIT CLARITY

存在感のある同化(魂の浄化)

(パンフレットから抜粋)

## Premium Textile Editors Tokyo

世界的に著名な海外のホームテキスタイルエディター数社が出展。日本のブックメーカー主体のジャパンテックスには出展していないエディターです。来日したディレクターや責任者が自社のブランド哲学や最新のトレンドを紹介するセミナーも開催されました。

- ・ Christian Fischbacher  
(クリスチャン・フィッシュバッハ:スイス)  
Fischbacher 女史
- ・ Nya Nordiska(ニア・ノルディスカ:ドイツ)  
Rontgen氏
- ・ SHACO(サコ:ドイツ)Dreyer氏

## 「江南織物卸商協同組合」

出展者の中には、カーテン生地を製造業者の組合もあります。カーテン生地の産地は、栃木県～群馬県、愛知県～岐阜県、福井県～石川県などに限られていますが愛知県の「江南織物卸商協同組合」が今回のインテリアライフスタイルリビングに出展していました。「江南織物卸商協同組合」は織機を数台、数十台保有し、生地を織っている企業8社からなる協同組合です。かつては今よりも多くの企業が“織屋”としてカーテン産業、大きくいえば

日本の繊維産業を支えてきましたが、海外品の流入等により現在の企業数にまで減少してしまっています。

オーダーカーテンは、2m、3mといった長さの生地を生産時の生地巾のまま巾継ぎして縫製しなければならないため、生産時の織り傷を極力少なくすることが求められます。現状の海外生産品ではオーダーカーテンの品質基準を満たすことが難しいため、アパレルや既製カーテンのように海外調達品が進まず、江南産地などの国内で生産されるmade in Japanの生地が中心になっています。



▲江南ブース

## 洛中高岡屋

インテリアライフスタイルリビングの『WA+』というエリアに出展していたのが(株)高岡です。(株)高岡は大正8年の創業以来、京都市の自社工場職人による手作りの布団作りを脈々と続けている布団屋さんです。

京都の人々の暮らしに深く関わってきた(株)高岡の「新たな和」のアイテムが「おじゃみ座布団」です。「おじゃみ」とは京ことばで「お手玉」のこと。お手玉の作り方でクッション風の座布団を仕立てたものです。(株)高岡は京都のほぼ中央部、「洛中」に位置しています。

そこで『洛中高岡屋』というブランドを立ち上げ、「おじゃみ座布団」の他にも個性的な商品を手がけていて、国内外の多くのメディアにも取り上げられています。

そんな(株)高岡と東リがコラボしました。東リオーダーカーテン『エルニア2011-14』のP101とP137に、さりげなく「おじゃみ座布団」を掲載していますのでご覧ください。



▲(左)FISBA おじゃみ座布団  
(右)東リ おじゃみ座布団 KSA3325(エルニア)

## with curtains

今回ご紹介するもうひとつのイベントがトーソー(株)主催のウィズカーテン(with curtains)です。日本のカーテンメーカー各社のデザイナーやマーケティング・商品開発者から自社カーテンの開発背景やセールスポイントなどを直接聞くことができるというカーテン業界を代表する人気イベントになっています。

今年度のウィズカーテンは、9月14日(水)に東京国際フォーラムにて、過去最多のカーテンメーカーの10社が参加して開催されました。(参加企業/プレゼンテーション発表順: スミノエ、アスワン、川島織物セルコン、東リ、リリカラ、五洋インテックス、シンコールインテリア、サンゲツ、フジエテキスタイル、マナトレーディング) 受講対象者は「インテリアコーディネート業務に携わるプロの方」で、受講料として1,000円必要ですが、200名限定のため、すぐに予約でいっぱいになってしまいます。各社のプレゼン時間は約20分。合計5時間の「濃密なカーテンの時間」を過ごすことができます。各社の合間にトーソー(株)の商品説明のプロモーション映像が流れるため、レールやブラインド、ロールスクリーンなどの新商品もチェックできます。

今年から、当日会場へお越しいただけない方向けのすばらしい新企画が追加されました。当日の発表会の模様をUSTREAM(ユーストリーム)で生中継され、インターネットがある環境であれば、ご自宅もしくは事務所しながら無料で見るができるようになりました。デザイナーや商品開発者の“思い”を直接聞ける機会はそう多くはありませんので、一日中、パソコンの前に座り続けるのもいいかもしれませんね。



▲with curtains 会場風景

ジャパンテックスの話題に戻りますが、今回の東リブースでは、弊社のカーテン・壁紙・カーペットと(株)マルニ木工の家具というコラボで3シーン提案いたしました。小さなコーナーではありましたが、多くのご来場者に足をとめて頂きました。インテリアファブリックスと家具。とても当たり前の組み合わせですが、ある来場者の方から「ジャパンテックスという展示会の中ではとても新鮮」というご意見を頂戴しました。



このとき思ったのが、「今回のジャパンテックスは、インテリアライフスタイルリビングの翌週に開催…東京ビックサイトに2週連続でご来場されたお客様はどれくらいいらっしゃるのだろうか?」ということでした。インテリアファブリックスと家具、内装仕上げ材と住宅用建材、インテリア小物、照明、etc…既存の業界の小さな枠を取り外して、『インテリア』に関するすべてのアイテムが揃う展示会、1日ではとてもまわりきれない展示会、メーカーが競い合うようなプレゼン、予約でいっぱいになるセミナーが盛りだくさんの展示会、そんな展示会であれば、開催が待ちどおしい魅力的な展示会になる!と思うのは私だけでしょうか。

来年のジャパンテックスは、魅力的な展示会への第一歩となるよう、住宅建材系の展示会であるジャパンホームショー・HOSPEXと同時開催する予定になっています。(角田記)